

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地				
東京サイクルデザイン専門学校	平成23年10月25日	水野 倫理	〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-20-5 (電話) 03-3499-0655				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地				
学校法人水野学園	昭和58年4月1日	水野 孝彦	〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-29-2 (電話) 03-3499-0350				
目的	スポーツ工学デザイン科自転車プロダクトコースは、自転車業界において、自転車の商品開発(企画・デザイン・製作)ならびに修理・販売、および関連する商品知識を持った人材を育成することを目的とする。						
分野	課程名	学科名		専門士	高度専門士		
工業	環境デザイン専門課程	スポーツ工学デザイン科 自転車プロダクトコース		平成25年文部科学 省告示第2号	-		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	2168	16	128	2168	0	128
単位時間							
生徒総定員		生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
108人		97人	6人	1人	7人		
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日		成績評価	■成績表 有 ■成績評価の基準・方法 評価基準は、90点以上をA、80点以上90点未満をB、70点以上80点未満をC、60点以上70点未満をD、59点以下はF(不可)とする。また評価には値しないが習得レベルに達したと判断された場合はPとする。成績評価は、課題物評価、試験等により行う。			
長期休み	■夏期 8月 1日 から 8月31日まで ■冬期 12月20日 から 1月10日まで ■春期 4月 1日 から 4月14日まで		卒業・進級条件	・学校長および教職員による卒業・進級判定会議において認定されること。以下の①～④を総合的に判断して認定する。 ①課題物評価 ②出席率 ③授業態度 ④成績 ・学費を完納していること。			
生徒指導	■クラス担任制 有 ■長期欠席者への指導等の対応 電話・メールでの連絡、担任面談、自宅訪問、保護者連絡 など		課外活動	■課外活動の種類 学園祭、海外研修旅行 など ■サークル活動 なし			

就職等の状況	<p>■主な就職先、業界等 今野製作所、(株)東洋フレーム、イオンバイク(株)、(株)あさひ など</p> <p>自転車業界</p> <p>■就職率※1 95 %</p> <p>■卒業者に占める就職者の割合※2 80 %</p> <p>■その他 独立、独立準備、他業種就職など (平成 29 年度卒業者に関する平成30年5月1日 時点の情報)</p>	主な資格・検定等	<p>水野学園 職業技能検定 CAD部門【3級・2級・1級】</p> <p>ガス溶接技能講習修了 アーク溶接技能講習修了</p>
中途退学の現状	<p>■中途退学者 10 名</p> <p>平成29年4月1日 在学者 99 名 (平成29年4月5日 入学者を含む)</p> <p>平成30年3月31日 在学者 89 名 (平成30年3月15日 卒業者を含む)</p> <p>■中途退学の主な理由 経済上の理由、健康上の理由、履修上の理由 など</p> <p>■中退防止のための取組 担任制、出席状況・課題提出状況を書いた保護者通知の発送(年2回)、学校長メールアドレスの全学生公開、専門医によるカウンセリング、学生相談、個人面談 など</p>		
ホームページ	URL http://tcds.jp		

※1「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」の定義による。

- ①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。
- ②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員(1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいう。
- ③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

(「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。)

※2「学校基本調査」の定義による。

全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。)

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

自転車業界において、自転車の商品開発(企画・デザイン・製作)ならびに修理・販売、および関連する商品知識を持った人材を育成するために、同業界の企業と連携して以下の①～⑤を踏まえた教育課程の編成を行う。具体的には、新たな科目の設定、既存科目の内容・教育手法の改善、教材の開発、自転車ビルダー、自転車メカニック、商品企画スペシャリストとして必要となる知識や技術など実践的かつ専門的な職業教育の実施に向けた協議・検討することを基本方針とする。

- ①新商品企画に関するマーケットリサーチや商品開発力の育成
- ②各種PCソフトや3DCADデザイン技術を含めた、商品デザイン力の育成
- ③オーダーメイドから量産までに対応する商品製作の技術力の育成
- ④商品の販売に関わる流通や店舗企画力、顧客対応力の育成と、関連する商品知識の習得
- ⑤自転車安全教育の啓蒙や駐輪場問題など、現代社会における自転車に関連する社会問題解決力の育成

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成30年5月1日現在

名前	所属
松田 志行 様	東京自転車製造卸協同組合 副理事長
荻山 一成 様	株式会社オギヤマサイクル 代表取締役社長
水野 倫理	東京サイクルデザイン専門学校 学校長
酒匂 博	学校法人 水野学園 教育部長
高橋 政雄	東京サイクルデザイン専門学校 スポーツ工学デザイン科責任者

(開催日時)

第1回 平成29年8月28日 14:40～15:30

第2回 平成30年3月5日 14:00～16:40

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

自転車を有効でかつ安全な都市交通手段として機能させるために様々な総合的自転車政策提言を行う国内で唯一の機関である「NPO法人 自転車活用推進研究会」と連携し、「自転車交通の安全性の重要性」を理解させ、我が国の自転車文化向上に貢献できる学生の育成をすることを基本方針とする。

科目名	科目概要	連携企業等
デザイン基礎実習 I-1	現状の交通問題を挙げて、自転車文化向上のために今出来ることを実習形式でプランニングしプレゼンテーションまで行なう。合わせて、安全マナーの向上を目的とし、交通ルールの試験も時間内に実施する。 背景として、本学開校時の「東京都私学審議会」において、日本で唯一自転車に関わる専門学校として、「自転車安全教育」の導入に関する指摘があり、開校以来様々な授業内で専任教員が安全マナーに関する啓蒙活動を実施している。本年度は特に「非営利特定法人 自転車活用研究会(自活研)」の事務局長を迎え、より本格的な取り組みを実施するもの。	NPO法人 自転車活用推進研究会

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

・実務に関する知識、技術、技能などの向上のため、同業界から各職種の専門家による実践的技術・知識の研修を規定に則して計画的に実施する。

・指導力の習得・向上のため、人材開発や教育指導力の教育専門機関による研修を規定に則して計画的に実施する。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成30年5月1日現在

名 前	所 属
松田 志行 様	東京自転車製造卸協同組合 副理事長
萩山 一成 様	株式会社オギヤマサイクル 代表取締役社長

(学校関係者評価結果の公表方法)

<http://tcds.jp/information>

5. 情報提供

(情報提供の方法)

<http://tcds.jp/information>

授業科目等の概要

(環境デザイン専門課程スポーツ工学デザイン科 自転車プロダクトコース) 平成30年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			ビルディング基礎実習 I-1 (ヤスリ/糸ノコ練習)	フレーム製作に必要な切削工具の取扱いを学習する。	1前	32				○	○		○		
○			ビルディング基礎実習 I-2 (ラグレス ロウ付け練習)	アセチレン用トーチを用いた真鍮口のロウ付け方法を学習する。	1前	32				○	○		○		
○			ビルディング基礎実習 I-3 (ラグレス 前三角練習)	ラグレスフレームの前三角部分を製作。図面の読み取り、基本的な製作方法を学習する。	1前	64				○	○		○		
○			ビルディング基礎実習 I-4 (ラグレス ステム製作)	ラグレスのロウ付け方法を習得し、アヘッド用ステムの製作を学習する。	1後	64				○	○		○		
○			ビルディング基礎実習 I-5 (ラグ ロウ付け練習)	アセチレントーチを用いてラグ(継ぎ手)のロウ付け方法を学習する。	1後	32				○	○		○		
○			ビルディング基礎実習 I-6 (ロードフレーム製作)	ラグを使用したロードレーサータイプのフレームを製作。サイズ、小物ロウ付け位置など規定内でアレンジし、フレーム製作の応用を学習する。	1後	128				○	○		○		
○			ビルディング基礎実習 I-7 (オリジナルラグ製作)	「ブランクラグ」をオリジナルデザインで切削/仕上げを施し、ラグ加工の応用を学習する。	1後	32				○	○		○		
○			メンテナンス基礎実習 I-1 (自転車整備知識基礎)	自転車整備に関する特殊工具を含めた工具の使用法や各種ケミカルやネジ等、基礎知識を学習する。	1前	48				○	○		○		
○			メンテナンス基礎実習 I-2 (自転車販売学基礎)	自転車販売に関する基礎知識や自転車独自の部品企画、用途によって異なる様々な車種の特徴を学習する。	1前	48				○	○		○		
○			メンテナンス基礎実習 I-3 (シティバイク)	シティバイクの分解、組み立て、調整、ホイール組みを実習し、講義を通じてシティバイクメンテナンスの周辺知識を学習する。	1前	96				○	○		○		
○			メンテナンス基礎実習 I-4 (ロードバイク I フィッティングまで)	ロードバイクの分解、組み立て、調整、ホイール組、フィッティングを実習し、講義を通じてシティバイクメンテナンスの周辺知識を学習する。	1後	96				○	○		○		
○			メンテナンス基礎実習 I-5 (MTB I フィッティングまで)	MTBの分解、組み立て、調整、ホイール組、フィッティングを実習し、講義を通じてシティバイクメンテナンスの周辺知識を学習する。	1後	96				○	○		○		
○			デザイン基礎実習 I-1 (一般知識)	自転車デザインの歴史から進化の過程を学ぶとともに用途とスタイルの関係性についても考える。また、製図基本も学習する。	1前	64		△		○	○	△	○		○
○			デザイン基礎実習 I-2 (グラフィックデザイン)	イラストレーターを用いてオリジナルロゴデザインの作成。フレームのカラーリングテクニックも講義し、グラフィックの基礎知識を学習する。	1前	32				○	○		○		

○		デザイン基礎実習Ⅰ-3 (フレーム製図)	見本製図のトレース、パーツ実測による製図を実習し、自転車設計製図の表現方法を学習する。	1 後	64				○	○	○						
○		デザイン造形実習Ⅰ-1 (プロダクトデザイン演習Ⅰ)	マウスの問題解決をテーマに、デザインとモックアップ制作を通し、機能をカタチにするプロダクトデザインの基礎を学習する。	1 前	32				○	○	○						
○		デザイン造形実習Ⅰ-2 (モデリング演習とボード制作)	インダストリアルクレイを使用し、粘土による造型テクニックを学習する。	1 後	64				○	○	○						
○		コンピューター演習Ⅰ-1 (CADによるパーツ制作Ⅰ)	3DCADソフト「ライノセラス」の基本的操作を学習する。	1 通	32			○		○	○						
○		合同講評会	製作した作品をパワーポイントにまとめ、決められた時間内に発表、講評する。	1 後	8			○			○	○					
○		学外研修	自転車に関する展示会、企業等を訪問見学し、業界の流通、製造、販売等の実体験を行う。また、交通ルールの実態を把握するために道路調査なども実施する。	1 通	16			△		○		○	○				
○		特別セミナーⅠ	本学創立の歴史や学園の遍歴を通してその学園理念を学習する。	1 後	4			○			○	○					
	○	自主研修／自由制作	授業で習得した技術を用いてオリジナル設計の自転車フレームの製作を学習する。	1 通	136						○	○	○				
○		ビルディング基礎実習Ⅱ-1 (MTB ラグレスフレーム製作)	ラグレスフレームの基本構造、製作方法を習得し、MTBフレームの製作工程を学習する。	2 前	128						○	○	○				
○		ビルディング基礎実習Ⅱ-2 (リアキャリア製作)	自作したフレームに合わせたデザインのオリジナルキャリアを製作。ベンディング作業のテクニックを学習する。	2 前	64						○	○	○				
○		ビルディング基礎実習Ⅱ-3 (ビルディングテスト)	ロウ付け、切削、仕上げ作業を限られた時間内で実施。実践的な能力向上を図る。	2 後	64						○	○	○				
○		ビルディング基礎実習Ⅱ-4 (ミニベロ フレーム製作)	ラグレス型ミニベロフレームの製作。小径車の基本的構造理解と製作手順を学習する。	2 後	128						○	○	○				
○		メンテナンス基礎実習Ⅱ-1 (パーツ オーバーホール)	変速レバー、リアディレイラー等、のオーバーホールの方法、調整方法を学習する。	2 前	64						○	○	○				
○		メンテナンス基礎実習Ⅱ-2 (ロードバイクⅡ)	Shimano Di2、campagnolo EPS、SRAMコンポーネントの組付け、メンテナンス方法を学習する。	2 前	32						○	○	○				
○		メンテナンス基礎実習Ⅱ-3 (MTBⅡ)	Shimano製オイルブレーキ、コイル・エアースペンション、Wサスペンションの組付け、メンテナンス方法を学習する。	2 前	32						○	○	○				
○		メンテナンス基礎実習Ⅱ-4 (一般自転車メカニックアドバンス)	電動アシストバイク、3輪車、フォールディングバイク等の組み立て方法を学習する。	2 後	32						○	○	○				
○		メンテナンス基礎実習Ⅱ-5 (自主製作フレーム組み付けロード)	ビルディング授業で製作したロードレーサーバイクを完成車に向けて組付ける。パーツの互換性、整備技術を学習する。	2 前	32						○	○	○				

○		メンテナンス基礎実習Ⅱ-6 (自主製作フレーム組み付け MTB)	ビルディング授業で製作したMTBを完成車に向けて組付ける。パーツの互換性、整備技術を学習する。	2 後	32					○	○	○					
○		メンテナンス基礎実習Ⅱ-7 (自主製作フレーム組み付け 小径車)	ビルディング授業で製作した小径車を完成車に向けて組付ける。パーツの互換性、整備技術を学習する。	2 後	32					○	○	○					
○		メンテナンス基礎実習Ⅱ-8 (USED自転車)	様々な中古自転車のメンテナンス方法やクリーニング方法を学び、消耗パーツの劣化確認を行い、整備技術を学習する。	2 後	32					○	○	○					
○		メンテナンス基礎実習Ⅱ-9 (自転車整備確認テスト)	シティバイク、ロードバイク、MTBの組み立て作業を決められた時間内に実施。パーツの調整テストも実施する。	2 後	64					○	○	○					
○		デザイン基礎実習Ⅱ-1 (フレーム製図演習)	設計実習としてディメンションの基本計算と作図を学習する。また、品質評価実践として判定書類の作成も実施。	2 前	64				△	○	○	○					
○		デザイン基礎実習Ⅱ-2 (オーダー用製図)	第三者が提案するオーダーシート指示書に基づき設計や材料部品図、及び個別部品図の作成を行う。	2 後	64					○	○	○					
○		デザイン造形実習Ⅱ-1 (リサーチプランニング)	社会と自転車の関係性について問題点を抽出し企画立案とプレゼンテーションを学習する。	2 前	64					○	○	○					
○		デザイン造形実習Ⅱ-2 (プロダクトデザイン演習Ⅱ)	CADソフトを用いてオリジナルの部品パーツをデザインし、造型機で実作までを学習する。	2 後	64					○	○	○					
○		コンピューター演習Ⅱ-1 (CADによるサイクルパーツ制作)	ライノセラフで複雑な3次曲面形状のパーツ作成を学習する。	2 通	32					○	○	○					
○		マーケティング講義および実習Ⅱ-1 (自転車販売学)	製造、卸、小売店それぞれのマーケティング方法や実態を講義を通して学習する。また、予算書や事業計画書の作成模擬実習を実施する。	2 前	32				△	○	○	○					
○		学外研修	自転車に関する展示会、企業等を訪問見学し、業界の流通、製造、販売等の実体験を行う。また、交通ルールの実態を把握するために道路調査なども実施する。	2 通	24				△	○	○	○					
○		特別セミナーⅡ	卒業後の企業就職や独立に向けて、社会人としてのモノ作りとの取り組み方について学習する。	2 後	4				○		○	○					
	○	自主研修／自由制作	授業で習得した技術を用いてオリジナル設計の自転車フレームの製作を学習する。	2 通	136					○	○	○					
合計					44	科目	2440 単位時間(単位)										

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件＝卒業までに必要な履修科目をすべて履修していること。 必修科目のすべてを履修していること。自由選択科目は対象外。 履修方法＝課題物評価では『F』以外、試験では70点以上で履修となる。		1学年の学期区分	2期
		1学期の授業期間	26週

(留意事項)

1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。